



第 161 号

平成 24 年 8 月 1 日

小松市史編纂事務局

へんさんだより

市史へんさん

過ごしやすい梅雨にホッとしていたのも束の間、海の日 16 日、小松で 36 度を記録する猛暑日となりました。その後も暑い日が続いていますが、皆さんお元気にお過ごしですか。

さて、8 月はイベントが盛りだくさんです。栗津温泉街では 8 月 23 日～25 日に『おっしょべ祭り』が、菟橋神社では 8 月 26 日～28 日に『西瓜まつり』が行われます。どちらも特徴的な祭名ですが、それぞれの名前の由来をご存知でしょうか？まず、『おっしょべ』の由来ですが、昔、宿に奉公していた下女の名前“お末(おすえ)”が訛ったものです。そしてお末の恋物語が民謡「おっしょべ節」となりました。一方、『西瓜まつり』は、西瓜を売る店が何件も並んだことから、“西瓜”の字が当てられるようになりました。本来は“水火(すいか)”で、水と火のお祭りです。

市内のお祭りめぐりが恒例行事になっていらっしゃる方もいるかもしれませんね。折角ですから夏の風物詩を楽しんで暑さを吹き飛ばしましょう！



第 53 回市史講座

演題『^{かんしょう}歎生とその周辺』



講師：綿拔 豊昭 氏

筑波大学教授・小松市史専門委員

場所：公会堂 4 階 大会議室

日時：8 月 5 日(日) 13 時 30 分～15 時 30 分

受講料：無料(事前予約不要)

8 月 5 日開催、
もうすぐです！

皆様のご参加を
お待ちしております！

～堤 歎生～

上泥町(現大川町)の生まれ。能順の一番弟子として連歌を学んだ。「^{れんぎょくしゅう}聯玉集」は、能順の発句集で、師の没後、歎生が刊行。

また、歎生は芭蕉からは俳諧を学んだ。「奥の細道」の旅で芭蕉が小松を訪れた際、一泊で帰ろうとしたところを塵生ら小松の俳人たちと共に引き留め、自宅“歎生亭”に招き、句会を催した。

【綿拔 豊昭氏 略歴】

東京都生まれ。1981 年中央大学文学部卒業。2000 年「近世前期猪苗代家の研究」で中央大学より文学博士号を授与される。日本近世文学の研究者であり、「松尾芭蕉とその門流 加賀小松の場合」(筑波大学出版会)など数々の著書を手がけている。

凄い数の人がいます!!



(写真：大川町所蔵)

写真の約3分の2を埋め尽くしているのは何と“人”！これは、昭和12年9月に行われた「梯大橋落成舞台踊り大会」の時の写真です。一瞬何の写真かわからないほどの人ばかりです！ずっと川沿いの向こうまで人がびっしり。こんなにたくさんの人が小松の町にいたなんて驚くばかりです。この場に行ってみたかったなあ、と思ってしまう一枚でした。(⇒大川町文書調査で発見の1枚)

新修小松市史関連のお知らせ

新修小松市史はいよいよ第Ⅱ期10巻の発刊に向けてスタートしました。その1巻目となるのが民俗篇で、ただ今、調査、執筆中です。2巻以降は、「美術・工芸」、「近世村方」を予定しており、いずれも専門部会が動き出しました。すでに発刊のⅠ期10巻についても、将来的には、小松市のホームページでご覧いただけるよう検討しています。

7月に行われたこと

- ・7月6日：民俗部会開催
- ・7月11日：編さん・編集合同委員会
- ・7月26日～31日：民俗調査

8月の予定

- ・8月5日：近世村方部会
- ・8月8日～9日：民俗調査
- ・8月10日：編集委員会

<8月のカレンダー>



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5：市史講座	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

◎開室時間：午前10時～午後5時

は小松市史編纂事務局の休室日、日付は小松市立図書館の休館日です。

小松市史編纂担当(小松市教育委員会教育庶務課)

- ・住所 〒923-8650 小松市小馬出町91番地
- ・TEL 0761(24)8274 / ・FAX 0761(23)3563

小松市史編纂事務局(小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・TEL 0761(24)5315 / ・FAX 0761(22)9763
- ・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・休室日 土曜日/日曜日/月曜日/祝日/祝日の翌日

